

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

## 2. 競技者の招集について

- (1) 競技者招集場所 **競技開始場所（現地集合・トラックはスタート地点）**  
(2) 招集時刻

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 15分前	競技開始 5分前
フィールド競技	競技開始 25分前	競技開始 15分前
棒高跳	競技開始 70分前	競技開始 60分前

### (3) 招集の手順

- ※ トラック競技の出場者においては、招集を受ける前に、各自でアスリートビブス（腰）を受け取りに行き、右腰に着けた状態で招集を受ける。  
アスリートビブス（腰）受け取り場所は、南ゲートからトラックへ入る途中に設置する。係の指示に従うこと。
- ① 競技者は招集開始時刻までに招集場所に集合し点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピンの長さ（走高跳・やり投げは12mm以下、その他は9mm以下）・靴底の厚さ（400mまでは20mmまで、800m以上は25mmまで）・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受ける。
- ② 2種目に出場し、競技時間や招集時間が重なっている場合は、本人があらかじめ、出発係（トラック競技）とフィールド審判員に、競技が重なっている旨を申し出ること。
- ③ 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。  
また、棄権する者は、本人または同チームの選手が、出発係（トラック競技）・フィールド審判員にその旨を申し出ること。
- ④ **招集場所が密にならないよう、招集開始時刻の5分前を目途に集まるようにして下さい。**

## 3. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。  
トラック競技においては、準備が整いしだい、競技会時刻よりも早くに出発させることがあるので、
- (2) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず、注意にとどめる。  
スタート合図は、「イングリッシュコマンド」とし、1回目に不正スタートをした者を失格とする。  
常に場内アナウンスに注意すること。
- (3) 小学生は、2回目に不正スタートをした者を失格とする。
- (4) トラック競技の計時は、写真判定（1/1000秒）とし、同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。
- (5) 3000mは2列スタートとする。
- (6) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。  
トラック種目でゴールした選手がスタート地点へ戻る際には、メインスタンド下雨天練習場、もしくは、芝生スタンド側を通りもどること。本部関前・本部席後ろの通路の通行は禁止します。
- (7) リレー競技のマーカースは1カ所とし、出場チームにて用意すること。
- (8) リレーチームの編成メンバーは、リレー又は他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。  
ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んでいる競技者であること（TR24.10）。
- (9) リレーチームの編成（オーダー用紙）は、招集完了時刻1時間前までに記録室に提出する（TR24.11）。  
オーダー用紙は本部席に用意しているので、各チーム代表者1名が取りに来ること。
- (10) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示に従って行うこと。
- (11) 助走路が使われるフィールド競技のマーカースは、2個まで置くことができる。このようなマーカースが準備されていない場合は、粘着テープを使用してもよい（TR25.3.1）。
- (12) サークルから行うフィールド競技では、マーカースを1個だけ使用することができる（TR25.3.2）。

## 4. シューズについて

- (1) 競技用シューズについては、競技規則TR5.2を適用し、規定外シューズの使用は、認めない。ただし、小学生この規則を適用しない。
- (2) フィールド競技においては、中学生、高校生は適用除外措置にて実施する。  
対応方法は、中学生は兵庫県中体連、高校生は兵庫県高体連で決められた通りとする。

## 5. アスリートビブス（※ナンバーカード）について

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。  
跳躍競技者は、背または胸につけるだけでもよい。ナンバーカードはプログラムに記載の物と同じでなければならない（TR5.7）。ビブスは各自で用意すること。
- (2) トラック競技の出場者においては、招集を受ける前に、各自でアスリートビブス（腰）を受け取りに行き、右腰に着けた状態で招集を受ける。  
アスリートビブス（腰）受け取り場所は、南ゲートからトラックへ入る途中に設置する。  
※種目により受け取ることができる時間を制限する場合があります。系の指示に従うこと。  
レース後は、各自で元の場所へ戻すようにする（安全ピンはつけたまま）。
- (3) 3000m、5000mの選手については「別ビブス」を着用する。  
レース前に各自で、配布場所（ゴール付近）に取りに行き、自分のレーン番号のビブスを1枚胸につける。  
レース後は、各自で元の場所へ戻すようにする（安全ピンは外すこと）。

## 6. 走高跳・棒高跳におけるバーのあげ方について

- (1) 最後の一人になり、1位が決まるまで、以下のバーのあげ方とする。

		練習（選択）	バーのあげ方
男子	記録会	1m15 1m40 1m60	1m20 ~ 1m80 まで 5cmずつ 以降3cmずつ
女子	記録会	1m05 1m20 1m40	1m10 ~ 1m50 まで 5cmずつ 以降3cmずつ
男女 棒高	記録会	参加者に合わせて設定する。	

※ 走高跳の練習の高さは選手が選択する。その高さの選手が2回終われば、次の高さの練習を始める。

## 7. フィールド種目における試技について

- (1) 走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投においては、3回の試技を行う。
- (2) 走高跳においては、各ラウンド3回までの試技が認められ、成功した場合は次ラウンドにおいて同様に3回の試技を行う。
- (3) 計測ラインは設けない。明らかに失敗試技の場合はショートとして計測しない。
- (4) 三段跳の踏切版は、男子・女子混合で実施する（10m板と8m板を選択）。  
先に10m板の選手が3回行ったあと、8m板の選手が3回行う。

## 8. 用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 個人の棒高跳用ポールは、事前に検定を行う。  
・ポール 招集時
- (3) 練習用として個人用の器具を競技場内に持ち込んではいならない。

## 9. 記録証について

- (1) 記録証の発行を希望する選手は、結果通告後、本部記録室へ申し出ること。
- (2) 発行料は1部500円。 ※郵送の場合は、1部600円。

## 10. 練習について

- (1) 補助競技場（サブトラック）を開放するので、JOGや動きづくり等の練習、またメディシンボールを使用した練習は、こちらで行うようにする。
- (2) メイン競技場では、スピードを上げる練習等で使用するが、競技の妨げにならう安全に注意してバックストレート付近で行うこと。  
練習不可の場所をコーン等で制限することがあるので注意すること。  
リレーの練習については、第3コーナーにて行うようにする。
- (3) ハードルの練習は、主催者が用意したものを使用する。
  - ① 利用時間は、開門後～10:10まで。
  - ② レーン割は、

男子一般高校	110mH	バック側	8レーン	3台まで
女子一般高校	100mH	バック側	7レーン	3台まで
男子中学	110mH	ホーム側	7・8レーン	3台まで
女子中学	100mH	ホーム側	5・6レーン	3台まで

※ハードル練習時には、3000m、5000mの競技が行われているため、  
中学生のハードル練習は、十分に注意して行うこと。
- (4) 投てき練習は、補助競技場においてメディシンボールの使用のみとする。それ以外の場所（メイン競技場、メイン競技場入場門外広場付近、公園内）において、物を投げる練習は一切行わないこと。

## 11. 競技場の使用について

- (1) 競技場への入退場（選手受付、帰宅時）はメインスタンド南側ゲートのみとする。
- (2) 補助競技場へは、メインスタンド南側ゲートを使用して行き来する。  
門を出る際に、係員から「再入場許可証（リストバンド）」を受け取り手首に取り付けること。  
再入場の際は、門の係員に「再入場許可証」を提示する。手首から外れている場合は無効となる。
- (3) 雨天練習場の走路部分は、チームの待機場所（ベンチ）として使用しないこと。  
雨天時には、チーム待機場所や雨天練習場の使い方を別途指示する。
- (4) 雨天練習場において、スピードを出して走る練習は、南⇒北への一方方向で行うこと。  
途中から走り始めることがないようにすること。  
スタート地点（南）へ戻る際は、建物側に沿って戻ること。  
雨天練習場での、JOGや動きづくり等は禁止。
- (8) 選手・団体関係者（監督・顧問・コーチ・マネージャー）・競技役員・補助員・観戦入場者（保護者・家族）  
主催者から認められた大会関係者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (9) 応援は、メインスタンド、芝生スタンドからのみとする。
- (10) 各団体においてマナー（観覧・応援態度、競技中の態度、交通機関の利用など）の指導を徹底すること。
- (11) 更衣室での滞在時間は5分以内に済ませ、すぐに出ること。シャワーの使用は禁止。
- (12) 貴重品の管理は各自で責任を持って行うこと。
- (13) ゴミは、各自の責任において家庭まで持ち帰ること。
- (14) 競技中に発生した障害、疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- (15) 大会結果は、明石市陸上競技協会ホームページ、アスリートランキングにて公開する。

## 12. その他

- (2) 開門時刻は7:00
- (3) 入場門内で選手受付・審判受付を行います。  
1日ごとに「大会参加者チェックシート」を作成して提出する。
- (4) 観戦者（保護者・家族）は、受け付けて「観戦入場者チェックシート」を提出してください。  
選手関係者は選手の家族・親戚とします。※不審者・盗撮対策のためご協力ください。
- (4) 昨今、悪質な写真（ビデオ）の盗撮が横行しています。子どもや選手をこれらの被害から守るために、  
大会中撮影が許可されるのは下記の場合に限ります。
  - ① 大会運営本部より許可され、腕章（ゼッケン）をつけた報道カメラマン。
  - ② 大会出場学校の顧問・部員・選手の家族  
撮影をされている方に、上記に該当するか、確認をする場合があります。
  - ③ スタート地点後方からの撮影は禁止。観戦者はメインスタンドからのみ。
- (5) 当日、午前6時の時点で、明石市に気象警報が発令されている場合は、その日の競技は中止です。
- (6) 荒天時でも、警報が発令されていなければ記録会は実施されます。